

ウエルカムコンサート

校 長 武井 正明

これが来ると吉中に春が来た感じがする。吉中の伝統であり、風物詩だ。

週明け月曜日、先生方も生徒も、新学期の疲れが、なかなか取れない朝だったかもしれない。それを吹き飛ばすような、昼休みの生徒玄関。

昨年これを初めて観た時はびっくりした。大音響の迫力と観客のノリに圧倒された。

今年は経験しているから、わかる。新1年生と転入職員以外は、みんながこの楽しさを知っているのだ。

だから、私の月曜日の朝は、とてもワクワクだった。



多くの聴衆が来てくださった土曜日の定期演奏会の興奮そのままに、それぞれのパートが、思いっきり自由に、演奏を楽しんでいるように感じた。

新しく来た先生方も、びっくりして聴いている。中には、大きく手を広げて叩いてくれる先生もいた。これが吉中吹奏楽部なのです。

そして、聴衆がいい。吉中は聴衆のノリもウリ。ノラなきゃ損。演者を乗せて演奏を引き立てる。聴きながら音楽と一緒に楽しんでいる。演奏できる人たちは、本当にすごい。いっぱい練習しているから、こんなに楽器を操れるのだろうか。



アンコール、ラストはおジャ魔女どれみ。指揮の矢澤先生も、少し照れくさそうにおもちの棒を振っての演奏。

そして最後の曲演奏が終わると、生徒玄関は拍手喝采に包まれた。その直後、演奏者と聴き手が、笑顔でハイタッチしている姿に遭遇した。いいねえ。こういうことが自然にできるって素晴らしい。お互いを認め合う絶好のシャッターチャンス、しかしこの一瞬は逃してしまった。ああ残念。写真に収めていたら最高の一枚になっていただろう。

予想通りの、充実した昼休みとなった。吹部の人たち、お疲れさま。大成功!!

日中、先生方からボルダリング競技に取り組んでいる新1年生がいるとの情報を得た。知らないところで頑張っている吉中生が、またひとりいた。

学校生活内外で、それぞれの可能性を追い求めていってほしい。